

令和6年度 全国学力学習状況調査<国語>

朝来中学校

◆全体的な概要

- ・全体で全国平均・兵庫平均をわずかに下回る正答率であった。
- ・学習指導要領の領域では「知識及び技能」における「我が国の言語文化に関する事項」の正答率が全校平均・兵庫平均ともに上回る一方、「思考力、判断力、表現力等」における「書くこと」に特に課題が見られた。

◆本校生徒に定着していると考えられる資質・能力

- ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。

(1三:情報の扱い方に関する事項)

- ・文脈に即して漢字を正しく書くことができる。(3三:言葉の特徴や使い方に関する事項)
- ・行書の特徴を理解できている。(4三:我が国の言語文化に関する事項)

◆本校生徒に課題があると考えられる資質・能力

- ・資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することことに課題がある。

(1二:話すこと・聞くこと)

- ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することに課題がある。(3四:書くこと)

- ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことに課題がある。

(4一:言葉の特徴や使い方に関する事項)

◆指導改善のポイント

- ・情報と情報のつながりや、話の要点を正確に捉え、得た情報から自らの考えを形成して他者に表現できるよう指導する。具体的な資料を正確に読み取り、その内容を踏まえ、自分の意見を明確にまとめる活動で指導を図る。

- ・論説文や意見文などの文章を比較するなどして読み、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について捉えるよう指導する。また、それらの文章を参考に読み手・聞き手を想定して自分の考えが伝わりやすい文章を書くための、構成や表現の工夫を行う活動で指導を図る。

- ・関心のある事柄について批評した文を書き、論理の展開などについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見出せるよう、指導する。ペアやグループでの意見交換やタブレットを用いて、クラス全体で一つの文章を検証し、考えさせる指導を行う。

- ・物語や詩、短歌などの学習の中で新たに表現技法や語彙を理解し習得できるよう指導する。また、話や文章、創作活動の中で適切に使えるようアウトプットとなる活動で指導を図る。